製品安全情報

スポーツ用品による事故

製品評価技術基盤機構（ＮＩＴＥ）
中国支所　TEL：082-211-0411

ＮＩＴＥに集約される製品安全に関する情報

製品評価技術基盤機構（ＮＩＴＥ）では、ＮＩＴＥに集約される製品安全に関する情報を製品事故の未然・再発防止の観点から、製品安全情報マガジン（ＰＳマガジン）によってタイムリーに提供しています。

今回は、この時期に使われるスポーツ用品による事故を御紹介します。

事例1

【金属製バット】

屋外で打撃練習中に、グリップエンドから約２０センチメートルのところで折損した。

バットのグリップ部の複数箇所で疲労破壊が進行し、それにより形成された亀裂を起点として脆性（ぜいせい）破壊が起こり、一気に破断に至ったものと推定されます。

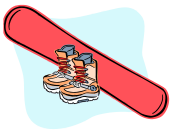
事例2

【卓球台】

使用者が当該製品を開く際に、バランスを崩して当該製品とともに転倒し、足が下敷きになり、負傷した。

当該製品の設置作業を１人で行い、キャスター付近のフレームに足を掛けて天板を手前に引いたためキャスターが動くなどしたことにより転倒したものと推定されます。なお取扱説明書には「安全のため必ず大人２人１組で操作してください。卓球台の側面に立ち両手でゆっくり左右に開く」と記載されていました。

事例3



【スノーボード】

スキー場で、スノーボードで滑っていた男性が、親子に衝突して子どもが転倒し、頭を打ち死亡した。父親と男性は、背中などを打ち軽傷を負った。

滑っていた男性がスピードを出し過ぎていたため、操作を誤り、衝突したものと推定されます。

事例4

【トランポリン】

トランポリンを組み立てようと、本体を円形に広げて手を離したところ跳ね返り、パイプ枠が額にあたり、3針を縫うけがをした。

組立説明に関する表示が不十分であり、使用者が本体を完全に円形に広げる前にロックピンを差し込み、固定されていない状態で手を離したため、押し広げた片側が跳ね返り、スチール製のパイプ枠が額に当たり、けがをしたものと推定されます。

事例5

【ゴルフグローブ】

ゴルフグローブを使用したところ、左手がかぶれた。

当該製品から、メトキシケイ皮酸オクチルなど、事故の症状を引き起こす可能性のある化学物質が検出されたことから、事故品に含まれる成分により接触皮膚炎を発症したものと推定されます。

◇スポーツ用品の多くは力を加えて使うことから、使用方法を間違えると、重大な人的被害につながることが多くあります。取扱説明書に従い、正しい使用方法を守るとともに、製品に過度な傷やへこみがないか等、使用前の点検を怠らないようにしましょう。

経済産業省　中国経済産業局　広報誌

 Copyright 2013 Chugoku Bureau of Economy , Trade and Industry.